

VDX-1 Mini Autoloader

取扱説明書 もくじ ページ 使用上のお願い ・・・・・ 4 ご使用の前に ・・・・・ 5 各部名称 •••••• 6 コントロールパネル・ドライブ ・・・・・ 7 メニュー一覧 ……… 8 準備する ・・・・・ 10 コピー開始の前に ………… 11 メニュー別の操作説明 ・・・・・ 12 エラーコードー覧表 ・・・・・ 23

安全上のご注意

ご使用いただく前に、以下の注意項目をご確認いただき、正しい使用を行ってくださいますようお願い いたします。誤った使用を行った場合には、お使いいただく方や周りの方、および環境へ損害を与える危 険がございますので、くれぐれもご注意ください。

▲ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定されるこ とを示しています。
▲注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険または物的損害の発生が想 定されることを示しています。
A	△ 記号は「気をつけるべきこと」を表しています。 (左の記号は「感電注意」を意味しています)
	〇 の中にへの記号は「してはいけないこと」を表しています。 (左の記号は「分解禁止」を意味しています)



<u>水が掛かる恐れがある場所や、屋外には置かないこと</u> 感電や火災の原因となります。	
電源には交流100ボルトを使用すること 交流100ボルト以外を使用した場合は、感電や火災を引き起こすおそれがあります。	
電源プラグの金属部分(コンセント挿入部分)にホコリや水が付着している場合には、良く拭き 取ってから使用すること 電源プラグの絶縁不足により放電し、火災の原因となります。	
電源コードの付け根や本体が切断していないか確認すること 切断箇所が導体に触れることで感電や火災を引き起こすおそれがあります。	
煙が出ていたり、異音がしたり、変なにおいがしたりした場合には即座に使用を中断し、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから引き抜くこと 使用を続けると、火災や感電、破裂等を引き起こすおそれがあります。	
本製品に強い衝撃を与えたり、破損したりした場合には即座に使用を中断し、スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから引き抜くこと 使用を続けると、火災や感電、破裂等を引き起こすおそれがあります。	
<u>本製品の動作中に、搬送アームに触れないこと</u> すき間に挟まれてけがをしたり、機械を破損したりするおそれがあります	
本製品のすき間や通風口などから物を差し込んだり中に入れたりしないこと 本製品が破損したり、感電したりするおそれがあります。 誤って物が入ってしまった場合には使用を中断し、コンセントを引き抜き、各販売店までご連絡 ください。	
本製品の上に花びんやコップなどの液体が入った容器を置かないこと 本製品が破損したり、感電したりするおそれがあります。 誤って液体が掛かってしまった場合には使用を中断し、コンセントを引き抜き、各販売店までご 連絡ください。	

<mark>▲</mark> 警告

雷が鳴り始めたら本製品に触れないこと 感電するおそれがあります。

<u>不安定な場所や、弱い土台の上に載せて使用しないこと</u> 本製品が落下してけがの原因となったり、破損したりするおそれがあります。

お客様ご自身で当製品の修理、改造、分解を行わないこと 必要となった場合には各販売元へご連絡、ご相談ください。



通風口の前に物を置いたりしてふさがないこと 本製品が高温となり、やけどを負うおそれがあります。また、本製品を破損することがありま す。	
本製品を移動する場合には、コンセントから電源プラグを引き抜いてから行うこと 電源プラグを引き抜かずに移動させようとすると、電源コード、コンセント、本製品との接合部 分を破損したり、引っ掛かって本製品を落下させてしまい、けがを負ったりするおそれがありま す。	
電源プラグを引き抜く場合に、コード部分をつかんで引き抜かないこと ケーブルやコンセントが破損するおそれがあります。	
濡れた手で電源プラグを差し込んだり引き抜いたりしないこと 感電するおそれがあります。	
直射日光の当たる場所や、高温になる場所に設置しないこと 本製品が高温となり、火災や故障の原因となります。	
湿度が高くなる場所やホコリが多い場所に設置しないこと 火災を引き起こしたり、感電したりするおそれがあります。	
問題が発生していないか定期的にチェックを行うこと 以上の項目に該当しないか、定期的にチェックを行ってください。不明な点がある場合には、各 販売店にご相談ください。	

使用上のお願い

取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠くへ運ぶ場合は、傷が付かないように毛布等で包んで下さい。
- 殺虫剤や揮発性のものを掛けたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変色したり 塗装が傷む場合があります。
- 長時間ご使用になると、天板・側板・後部などが多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 使用しない時は電源を切って下さい。
- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて下さい。
- 製品を梱包してある箱および付属品は、修理や点検の際に必要になることがありますので、 保管することをお薦めします。

使用場所・ご使用時は

- 操作パネルやドライブなどの汚れは、柔らかい布で軽くふき取って下さい。
- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を使い、よくふき取って下さい。 (ベンジンやシンナーは塗装を傷める原因となるため使用しないで下さい)

著作権について

BD/DVD/CDディスクには、著作権の付いた物が多く存在します。個人的に楽しむ目的以外の 複製は、権利者の許可がある場合を除いて、法律で固く禁じられています。

当製品を使用し無断複製などの違法行為が行われた場合、当社は一切の責任を負いません。 一般に、レンタルや市販されているBD/DVD/CD作品にはコピーガードが付与されており、複 製ができないようになっている場合があります。本製品にはそのようなコピーガードをはずす 機能は付随しておりません。

CPRMディスク取扱いのご注意 ※DVDディスクご利用の場合のみ

● CPRMガード処理済のマスターディスクについて CPRMのコピープロテクトの掛かったディスクは完全にコピー出来ません。 CPRM対応メディアは通常のメディアにはない、暗号化領域を持っております。 デュプリケータでコピーが正常終了しても、再生できない仕組みとなっております。

● CPRM対応ブランクメディアについて 「地デジ対応」「デジタル放送対応」と表記のあるブランクメディアはCPRM対応です。 マスターディスクがCPRMコピーガードが掛かっている、いないに関わらず、CPRM対応 メディアでコピーしたディスクを再生するには、ドライブ、ソフトウェアいずれの対応も 必要となるため、再生互換性に問題が起こる可能性があります。

ご使用の前に

本製品をご使用になる前に、作業が効率よく進行するよう、下記の文章をお読み下さい。

1. ドライブについての注意

本製品はCD/DVD/BDのそれぞれのディスク規格に対応しております。ただし、接続するドラ イブによって対応する規格は制限されますのでご注意下さい。

DVD±Rドライブを装備したデュプリケータが対応可能となるのは、DVDとCDとなります。 BD-Rドライブを装備したデュプリケータは、DVD、CDと合わせてBDもコピーが可能です。 また、接続するドライブは全て同じメーカー、型番、ファームウェアのものにして下さい。

違うドライブが混在した場合には正常に動作しない場合や、処理が失敗しやすくなったりする 場合があります。

2. マスター (コピー元) ディスクについての注意

マスターディスクは、ファイナライズされた(クローズ状態)ものでなければ、正常にコ ピーが出来ない場合があります。ファイナライズされていない(オープン状態)のものは、 ファイナライズを行ってからコピー作業を開始するようにして下さい。

なお、本製品にファイナライズ機能はございませんので、パソコンでマスターディスクを作 成する際に、ファイナライズ処理まで済ませて下さい。

ファイナライズの有無を、本製品の「ユーティリティ」内「ディスクジョウホウ」にて チェックする事が可能です。不明な場合にはご活用下さい。

3. ディスクのコピー制限

一般的にレンタル用や市販されているDVDおよびBlu-ray作品には、コピーを防止する機能が 付加されているため、複製することが出来ないようになっています。

なお、本製品にコピーガードをはずす機能は付随しておりません。 また、DVDのコピーは同一のディスク規格へしかコピーが出来ない制限もあります。 DVD±R(4.7GB)のディスクは、DVD±R(4.7GB)へのみコピーすることが可能です。 同じくDVD±R DL(8.5GB)についても、DVD±R DL(8.5GB)へのみコピーが可能です。 -Rと+R間も書込方式が異なりますので、同一容量であっても相互のコピーは出来ません。

4. 温度についての注意

室温が0℃以下の場所に24時間以上置いていると動作しないことがあります。 その場合は、作業を開始する4時間前に19℃以上の部屋にて機械を温めて下さい。 それを行わずに動作を開始した場合には、修復不可能な損傷を引き起こす可能性があります ので、くれぐれもご注意下さい。

5. メンテナンスについて

本製品に搭載されている光学ドライブ部品は非常にホコリに弱く、一番の故障原因となっています。

使用する際には、なるべくホコリのない場所で使用し、機械の表面上に付着した汚れなど も、こまめに掃除することをお薦めいたします。

※ ホコリの多い場所でドライブのトレイを開けると、ディスクを読み取るレンズや機械の内部にゴミを吸い 込み、故障の原因となりますので注意して下さい。

内容物の確認(付属品一覧)





VDX-1本体

電源ケーブル



取扱説明書

各部名称



コントロールパネル・ドライブ

コントロールパネル



上ボタン メニューや設定画面で上にカーソルを移動します



下ボタン メニューや設定画面で下にカーソルを移動します



決定(ENT)ボタン 選択した内容を決定します / メニュー選択では次の画面に進みます



キャンセル (ESC) ボタン 選択した内容をキャンセルします / メニュー選択では前の画面に戻ります





レバー:自動で動作するため触らないで下さい

本機のドライブは自動でトレイからディ スクを搬出するための機構を備えていま す。

動作中に自動でレバーが下がり、ドライ ブトレイの下が開閉してディスクを排出す る方式によりトレイが特殊な形状になって いるため、手でレバーを押し下げてからド ライブのボタンを操作して手動でトレイの 開閉を行うと破損するおそれがありますの でご注意下さい。

メニュー一覧

メニュー表示	メニュー内容	参照
1.コピー	マスターディスクのデータあるいはHDDのイメージをブランクディスクに 書き込む、デュプリケーターの基本機能です。	P13
2. テスト	コピーをシミュレートし、データ内容やディスクの状態をチェックする 機能です。実際の書込は行ないません。	P13
3. コンペア	マスター(原本)のデータと、複製されたディスクのデータが一致する か確認する機能です。	P13
4. テスト+コピー	テストを行った後に引き続いて自動でコピーを行ないます。	P13
5. コピー+コンペア	コピーを行ったあとに引き続いて自動でコンペアを行ないます。	P13
6.コピーソクド センタク	書込の速度(倍速)を設定します。 【標準設定値】CD:32x, DVD:8x, DVD DL:2.4x, BD:4x	P14
7. マスターモード	シングルマスターモードかマルチマスターモードを選択できます。	P14
8. ショウキョ	RW(書換可能)ディスクのデータ消去を行ないます。	P15
9.HDDセットアップ	HDDの設定、および操作ができます。	P15
1.パーティション センタク	コピー元のパーティションを選択できます。	P15
2. パーティション ロード	イメージの作成。マスターディスクからHDDにイメージを読込ます。	P15
3. パーティションメイヘンコウ	パーティション(イメージ)の名前を変更できます。	P15
4. パーティション サクジョ	パーティション(イメージ)の削除ができます。	P16
5. パーティション ジョウホウ	パーティション(イメージ)の情報を表示します。	P16
6.ヨミコミ ドライブセンタク	パーティションをロードする際に使うドライブを選択します。	P16
7.HDDフォーマット	HDDを初期化します。(全てのパーティションが削除されます)	P16
8.ファイル ナラビジュン	HDD内のパーティション(イメージ)が表示される順番を設定します。	P16
10. セットアップ	各種設定を行ないます。	P17
1. ゲンゴセンタク	使用言語を選択できます。(日本語以外をご利用の場合に使用)	P17
2.リードエラー スキップ	読込エラーが発生した場合に無視するエラースキップ機能の有効・無効 を設定できます。	P17
3. コピーモード	ディスクアットワンス、トラックアットワンスが選択できます。	P17
4. オーディオCD, VCD&CDGソクド	音楽CD&ビデオCDの最大書込速度を選択できます。 【標準設定値】16x	P17
5. ブザー	ボタン操作や動作完了時などに鳴るブザーの有効・無効を切替ます。	P17
6. スタートアップメニュー	電源を入れた直後に表示されるメニューを設定します。	P17
7. スクリーンセーバー	長時間液晶画面が同じ内容を表示すると発生する画面の焼き付きを防止 するためのスクリーンセーバー機能を設定します。	P18
8. カウンター	1回の作業で使うディスクの枚数を設定します。ここで設定された数値 が、1ジョブとなります。	P18

	9. DVD+Rコンパチモード	DVD+Rメディア向けのDVDプレイヤー互換モードの有効・無効を選択できます。	P18
	10. ISRC	ISRC(国際レーティングコード)を書き込み時に付与することができます。	P18
	11.オーバーバーン	規定容量を超えたデータが書き込めるCDがコピーできるようになりま す。ただ、こちらを使うと再生互換性が低下します。	P18
	12. オートクイックコンペア	オンにするとコピー後に続いて自動で簡易的なベリファイ(記録データ の読込チェック)を行います。	P18
11. システムユーティリティ		システムに関する情報などを参照できます	P19
	1. ディスク ジョウホウ	ディスクの容量、フォーマット形式が確認できます。	P19
	2.システム ジョウホウ	コピーコントローラのファームウェアバージョンが確認できます。	P19
	3.ドライブ ジョウホウ	ドライブの情報が確認できます。	P19
	4.ロード デフォルト	実行すると全ての設定が初期の状態に戻ります。(設定のリセット)	P19
	5. アップデートファームウェア	ファームウェアの更新を行ないます。	P19
12	. ローダユーティリティ	オートローダに関する設定ができます。	P20
	1. ロボットファームウェアアップ デート	ロボットのファームウェアを更新する場合に使用します。	P20
13	.アカウント カンリ	ユーザー毎にアクセス出来る機能を制限することができます。	P21
	1. ユーザカクニン	登録ユーザの確認ができます。	P21
	2.ユーザージョウホウ サクセイ	ユーザの登録ができます。	P21
	3.ユーザージョウホウ ヘンシュ ウ	登録ユーザのパスワードを変更できます。	P21
	4.ユーザージョウホウ サクジョ	登録ユーザの削除ができます。	P21
	5.キドウ パスワード	パスワード機能の有効・無効を設定できます。 パスワード初期設定値:0000	P21
14	.オートコピー	HDDにロードする操作を行わず、1枚目のディスクを自動でマスターとして使用し、続くディスクに連続でコピーを行います。	P22
15	オート コピー+コンペア	HDDにロードする操作を行わず、1枚目のディスクを自動でマスターとし て使用し、続くディスクに連続でコピーとコンペアを行います。	P22
16	オート コンペア	HDDにロードする操作を行わず、1枚目のディスクを自動でマスターとして使用し、続くディスクに連続でコンペアを行います。	P22
17. シャットダウン		設定を保持したまま電源が切れる準備を行う機能です。必ずこの操作を 行ってから電源スイッチを切って下さい。	P22

準備する

電源の操作

電源を入れる

- ① 電源コードと本体を接続し、コンセントを差し込みます。
- ② 本体背面にある電源スイッチを『ON』の方へ倒します。
- ③ システムの起動画面が表示された後、以下の画面が表示されます。

VinpowerDigital	3.42
1. コピー	(SM)

電源を切る

- 書込等の動作が終了し、ディスクがドライブ内に残っていないのを確か めて下さい。
- 電源スイッチを『OFF』の方へ倒します。
- ③ 電源用アクセスランプが消灯したことを確認し、コンセントを抜きます。

インプットビンのバーを設置する

ディスクを設置する位置を「インプットビン」と呼びます。

ディスクを積み上げた際に全てが正常な位置に揃うよう、ガイド パーツとして付属のバーを設置して下さい。

右の写真を目安に、本体天面の4つの穴にそれぞれ4本を立てて設置 します。丸みのある側を上に、平らな側を下にします。





アウトプットビンを設置する

記録されたディスクが排出される「アウトプットビン」 を設置します。

黒いリング状のパーツに、ディスクのスピンドルケース をはめ込んで利用します。

リングは向かって左側に、本体に設置するための出っ張 りがありますので、設置用のスリット(本体前方右側面・ 右下の写真を参照)に挿入して下さい。

ディスクが貯まると重くなり、アウトプットビンの底が 浮いている状態でご利用いただくとリングが折れて破損す る可能性がありますので、アウトプットビンは必ず底が テーブルなどの上に接地している状態でご利用下さい。





電源スイッチ



ディスクを設置する

- アウトプットビンにディスクが残っていない事を確かめます。
 インプットビンにマスターディスクまたはブランクディスクを 一枚、きちんと水平になるように設置します。
- ③ 必要な枚数のディスクを積み上げます。

※ディスクを設置する際の注意事項

- 『Multi Duplicate』モードを利用する場合には、マスターディ スクを最初の一枚にして、その上にブランクディスクを積み上 げていきます。『Image』内の『Burn』モードを利用する場合に は、一枚目からブランクディスクを積み上げていきます。
- 1枚目が水平に置かれていない場合には、インプットビンの中に ディスクが崩れて落ちてしまいます。まず1枚を丁寧に水平にな るよう設置してから、以降のディスクを積み上げて下さい。
- インプットビンへのディスクの最大ストック可能枚数は50枚です。この枚数を超えての設置は、動作不良を起こす場合がございますのでおやめ下さい。なお、動作中に減少した分のディスクを追加で積み上げる事が可能です。
- ディスクは複数枚が貼り付いていないか確認し、ほぐしてから 設置し、ご利用下さい。複数枚が貼り付いた状態で動作させま すと、オートローダーに挟まり停止したり、故障の原因となる 場合があります。



エラー終了 正常終了

※その他

- ディスクの処理にエラーが発生した場合、そのディスクはアウトプットビンではなく、ドライブの直下に排出されます。また、エラーの発生枚数が上限に達したら動作を止める機能が「Setup」内の「Max Disc Errors」に用意されています
- コントロールパネルの下にあるフタは、ディスクドライブのトレイに直接ディスクを設置する場合などに開けてご使用下さい。本機の機能と連動したり、センサーが付いていたりはしませんので、いつでも開閉することが可能です。通常は使用する事がございませんので、閉めたままご使用下さい。

エラー(R30)が発生した場合の対処法

画面に「ハイシュツスルディスクノドライブトレイヲツキトメラレマセン(R30)」と表示され、動作が停止してしまった場合には、以下の画像を参考にして復旧を試みて下さい。





レバーが正常な位置に戻っておらず、自動でトレイが閉められない状態のため、レバーを指で正常位置に 押し上げる必要があります。指で押している時にトレイが動作すると危険なため、画面にエラーメッセージ が出ている状態のまま行って下さい。押し上げた後にドライブのボタンを押してトレイを引き込みます。 トレイが閉じた事を確認してから、ENTボタンを押してエラーメッセージを消し、処理を再開して下さい。

コピー開始の前に――HDDにイメージを作成する

本機では、シングルマスター(SM)モードを利用する場合にマスターのデータをハードディス ク(HDD)に保存してから、ディスクの作成を始めます。この、HDD内に保存されたデータを 「イメージ」と呼びます。

また、本機内では区切りを意味する「パーティション」と呼んでいます。 まずはこのパーティション内にマスターのデータをロードする作業から行ないます。

- ① マスターディスクをインプットビンに設置する。
- メニュー画面で『9. HDDセットアップ』を選択し[ENT] ボタンを押す。
- ③ 『2. パーティション ロード』を選択し [ENT] ボタンを押す。
- ④ 『パーティションメイヲ ツケテ ロード』『パーティションニ ロード シマス』『ウワガキ』のいずれ かを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押す。

510M

 \neq



パーティション名の付け方

パーティション名の作成、変更時には上のような画面になります。

[]の枠内に黒い点が点滅していて [↑] [↓] ボタンを押すごとにアルファベットおよび数字が切り替わ ります。

また、[ENT] ボタンを押すことで先(右側)に進み、[ESC] ボタンを押すことで前(左側)に戻ります。 入力が完了したら画面で『OK?』と書かれている所まで[ENT] ボタンを押し、さらに押すと入力が決定し確 認画面が出てきます。



表示されている入力したパーティション名に問題がなければ[ENT] ボタンを押してロードを開始します。 ロード中は右上のように作成状況が表示され、100%に達すると「パーティションロードOK!」と表示されま すので、[ENT] ボタンで終了させます。

以上の操作により、イメージが作成できます。

メニュー別の操作説明

1.コピー

HDD内に作成されたイメージから、ディスクへの書込を行います。

- インプットビン【右図参照】にブランク(書き込み前)のディ スクをセットします。
- 2 右図のようにインプットビンの上に滑り台を設置します。
- ③ メニューから『1.コピー』を選択し [ENT] ボタンを押します。

VinpowerDigital	3.42	\rightarrow	パーティション センタク
1. コピー	(SM)		[*******] ****M

- ④ パーティションを選択する画面が表示されますので、コピーしたいパーティションを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。
- ⑤ 『カウンター』が表示されますので、連続してコピーを行う枚数を[↑] [↓]ボタンで切り替え、[ENT]ボタンで決定して入力を終了させると、指定枚数のコピーが開始されます。
- ⑥ 指定した枚数が終了すると、右の画面が表示され、書込が成功した枚数と失敗した枚数が確認できます。



セイコウ: ** シッパイ: ** シュウリョウハ ENT ヲ オシテクタ゛サイ

2.テスト

ディスクの書込をシミュレートし、動作チェックをします。(実際には書き込みません)

上記【1. コピー】項目の[1. コピー]のところを[2. テスト]に置き換え、同様の操作を行って下さい。

3.コンペア

書込済みのディスクが、正常に書きこまれたかどうかのチェックを行います。

上記【1.コピー】項目の[1.コピー]のところを[3.コンペア]に置き換え、同様の操作を行って下さい。 なお、コンペアは書き込まれたデータ内容が同一であるかをチェックし、書き込みもしくは読み込みエラー が発生していないかをチェックする機能ですので、書込で使用したものと同じイメージを指定して下さい。別 のイメージを指定しますとコンペア失敗となります。

4.テスト+コピー

テストの動作に引き続き自動でコピー動作が行われます。(操作は共通です)

5.コピー+コンペア

コピーの動作に引き続き自動でコンペア動作が行われます。(操作は共通です)

※注意

インプットビンに置いたディスクを超える枚数をカウンターで指定すると、インプットビンのディスクが 空になった時点で動作が一時停止し、ディスクが無くなった事を表示しますので、ブランクディスクをセッ トしてから [ENT] ボタンを押して再開して下さい。動作中にディスクを追加すると、アームが手に当たる危 険がありますので、おやめ下さい。

コピー等の書込動作速度を指定します。(書込倍速設定)

- ① メニューから『6. コピーソクド センタク』を選択し [ENT] ボタン を押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで、速度を指定したい項目を選択し [ENT] ボタ ンを押します。

【例: CD to CDソクド = CDから直接コピーを行う際の速度】

- ③ [↑] [↓] ボタンで速度(倍速) 【例:16x】を選択し [ENT] ボ タンを押します。[ENT] ボタンを押すとコピー速度選択の画面に戻 りますので、他の項目を設定する必要がなければ[ENT] ボタンでメ ニュー画面に戻ります。
- ④ 『Saving…』と表示されている間お待ち下さい。わずかな時間を置 いてメニュー画面に戻ります。

コピーソクト センタク: CD to CDソクト

CD to CDソクト:: 16x

7.マスターモード

コピー元のマスターデータの取扱いを指定します。

本製品には『シングルマスター (SM) 』と『マルチマスター (MM)』の2つのモードが搭載されています。

・シングルマスター

HDDのイメージを指定して、カウンターで指定した枚数分のコピーを行います。

・マルチマスター インプットビンにマスターディスクとブランクディスクを置き、複数のマスターを挟みこむことで、 次のマスターディスクの所から、その内容を自動的にイメージ化してコピー内容を切り替えるモード です。特定の枚数のコピーと、複数の内容のコピーを一度の作業で仕上げられる、便利な機能です。

※注意

ラーとなって停止します。

- ① メニューから『7. マスターモード』を選択し [ENT] ボタンを押しま す。
- ② [↑] [↓] ボタンで『シングルマスター』『マルチマスター』を 選択し[ENT]ボタンを押します。

③ 『1. コピー』の右隣に右図のようなモードが表示されていますの で、設定通りになっているのを確認して作業を開始します。

こちらに現在のモードが表示されます



マルチマスター 設置イメージ

マルチマスター(MM)モードは、インプットビンに置かれた マスターディスクを随時読み込んでマスターにするモードで

マルチマスターモードに設定した場合には、必ずマスター ディスクをインプットビンの一番上に置いてください。一番

上にマスターディスクが置かれていない場合は、読み込みエ

すので、HDDに作成したイメージを指定できません。

VinpowerDigital X.XX 1.⊐Ľ[°]− (SM)

8.ショウキョ

書換可能ディスク(RW)の内容を消去・初期化します

- ① インプットビンに消去を行いたいディスクを実行枚数分セットし、滑り台を設置します。
- ② メニューから『8. ショウキョ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで『クイックショウキョ』と『カンゼンショウキョ』を選択し[ENT] ボタンを押しま す。『カンゼンショウキョ(完全消去)』には多くの時間がかかりますのでご注意下さい。
- ④ 『カウンター』が表示されますので、連続してコピーを行う枚数を [↑] [↓] ボタンで切り替え、 [ENT] ボタンで決定して入力を終了させると、指定枚数のコピーが開始されます。
- ⑤ 指定した枚数が終了すると、右の画面が表示され、消去が成功した枚数と失敗した枚数が確認できます。

『ショウキョ』には2種類のモードが用意されております。目的・用途に合わせてお選びください。

- ・クイックショウキョ → 数秒で処理が終わります
 ディスクの「目次部分」のみ消去し、データはそのまま残します。データは残っていますが、空の
 ディスク(ブランク)として扱われるようになります。
- ・カンゼンショウキョ → 書込の場合と同等の時間が掛かります
 ディスクを全てゼロのデータにします。すべての情報、データが消去されます。

「クイックショウキョ」ではデータが残っているため、復元が容易です。ブランクディスクとして第三 者に渡す場合などには、完全消去を行っていただくのをお薦めします。

9.HDDセットアップ

ハードディスク全般の操作や設定を行います。

9-1.パーティション センタク

ハードディスク内に保存済みのイメージを選択する

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1.パーティション センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のパーティションを [↑] [↓] ボタ ンで選択し [ENT] ボタンを押します。

9-2.パーティション ロード

【11ページをご参照下さい】

9-3.パーティションメイ ヘンコウ

ハードディスク内に保存済みのイメージ名を変更する

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3. パーティションメイ ヘンコウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、任意のパーティションを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。
- ④ [↑] [↓] ボタンと [ENT] ボタンを使って名前を入力していきます。入力方法は『パーティション ロード』と同一です。

9-4.パーティション サクジョ

ハードディスク内に保存済みのイメージを削除します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4. パーティション サクジョ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータ選択画面が表示されますので、削除したいパーティションを[↑] [↓] ボ タンで選択し [ENT] ボタンを押します。
- ④ 削除して良いか確認の画面が表示されるので、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。

パーティション番号

XXXXXX.VEF

(001) DVD 4245M

パーティション名

種別·容量

9-5.パーティション ジョウホウ

ハードディスク内に保存済みのイメージを参照して内容を確認します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し[ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. パーティション ジョウホウ』を選択し
 [ENT] ボタンを押します。
- ③ ディスプレイにイメージデータの情報が表示されます。[↑] [↓] ボタンで情報を確認したいイメージを選択します。

9-6.ヨミコミ ドライブ センタク

ハードディスクロード時に使用する光学ドライブを指定します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『6. ヨミコミ ドライブ センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 光学ドライブの選択画面となるので、読込に選択したいドライブを[↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。

9-7.HDDフォーマット

ハードディスクを初期化(全データ消去)します。 ※元に戻せませんのでご注意下さい

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『7. ヨミコミ ドライブ センタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 全てのデータを消去して良いかの確認画面が出るため、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。
- ④ 一定時間が経った後、フォーマットが完了して自動的にメニュー画面に戻ります。

______ 9-8.ファイル ナラビジユン _____ ※ この設定は「パーティション センタク」を実行する際に適用されます。

HDD内のパーティション(イメージ)が表示される順番を設定します。

- ① メニューから『9. HDDセットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『8. ファイル ナラビジュン』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで表示方法を選択し [ENT] ボタンを押して決定します。

デフォルト パーティションが保存された順に表示されます。(標準) **アルファベット ショウジュン** パーティション名ごとに昇順(0から9、AからZ)に並べて表示されます。 **アルファベット コウジュン** パーティション名ごとに降順(ZからA、9から0)に並べて表示されます。 10.セットアップ

本体の挙動全般の設定を行います。

10-1.ゲンゴセンタク

液晶表示に使用する言語を選択します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1. ゲンゴセンタク』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 使用したい言語を選択し[ENT] ボタンを押します。以降、表示言語が変わります。

10-2.リードエラー_スキップ

ディスクの読み込みエラーが発生した場合に、読込を中断するかを設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- (2) [↑] [↓] ボタンで『2. リードエラー スキップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:読取を中断せず続行する オフ:読込を中断する)

10-3.コピーモード

_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _

CDの記録形式を指定します 『ディスクアットワンス』『トラックアットワンス』

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『3. コピーモード』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで利用したい記録形式を選択し[ENT] ボタンを押します。

10-4.オーディオCD, VCD&CDGソクド

音楽CDやビデオCDの書込速度を設定します。 (『6.コピーソクド センタク』とは別に設定されます)

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4.オーディオCD, VCD&CDGソクド』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 「↑] 「↓] ボタンで利用したい速度(倍速)を選択し[ENT] ボタンを押します。

10-5.ブザー

ボタンを押した時や動作が完了した時などに鳴るブザー音の有無を設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. ブザー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:音を鳴らす オフ:音を鳴らさない)

10-6.スタートアップメニュー

電源を入れた直後に表示されるメニューの種類を設定します

① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。

- ② [↑] [↓] ボタンで『6. スタートアップメニュー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ [↑] [↓] ボタンで起動時に表示したいメニュー項目を選択し[ENT] ボタンを押します。

10-7.スクリーンセーバー

液晶画面の長時間表示で発生する「焼き付き」を防ぐための機能を設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『7. スクリーンセーバー』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:スクリーンセーバー機能を使う オフ:使わない)

10-8.カウンター

連続してコピーを行い、その回数を決定するカウンター機能の有無を設定します (オートローダの連続コピーには、この機能が必要となるため、オンで使うことを推奨します)

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『8. カウンター』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:カウンター機能を使う オフ:使わない)

10-9.DVD+R コンパチモード

DVD+Rメディア向けのDVDプレイヤー互換モードでの書込をするかの有無を設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『9. DVD+R コンパチモード』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:互換モード書込を行う オフ:行わない)

10-10.ISRC

書込ディスクに国際レーティングコード(ISRC)を付与するかを設定します

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『10. ISRC』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン: ISRCを付与する オフ: 付与しない)

10-11.オーバーバーン

規定容量を超えるデータCDを作成できるモードにします。なお、作成したディスクの読取の互換性 は低下します。

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『11.オーバーバーン』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:オーバーバーンを利用する オフ:利用しない)

10-12.オートクイックコンペア

コピー後に自動で簡易的な読込チェック(30秒程度)を行います。

- ① メニューから『10. セットアップ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『12. オートクイックコンペア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 『オン』『オフ』を切替えます。(オン:オートクイックコンペアを行う オフ:行わない)

11.システムユーティリティ

本機の情報を参照します。

ディスクの容量、フォーマット形式が確認できます

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1. ディスク ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 情報を確認したいディスクを挿入(手動)し、しばらくするとディスクが検出されたと表示されますので [ENT] ボタンを押すと、下図のように情報が表示されます。さらに [ENT] ボタンを押すと情報が切り替わります。(下図の2種類)



ディスクの挿入方法(手動)

「ディスクジョウホウ」を利用する際にはオートローダが作動しません。 以下の手順で、ディスクを直接ドライブに挿入する必要があります。 取り出す際にも同様に行ってください。

① ドライブの右下部分にあるボタンを押して、トレイを排出します。



② 排出されたドライブトレイの上にある半透明のカバーを、手前をつまんで上に持ち上げます。
 ③ ディスクを直接つまんで取り出します。





11-2.システム ジョウホウ

本機のファームウェアバージョンが確認できます

メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し[ENT] ボタンを押します。
 ② [↑] [↓] ボタンで『2. システム ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。

11-3.ドライブ ジョウホウ

ドライブの型名、ファームウェアを確認できます

メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。

 [↑] [↓] ボタンで『3. ドライブ ジョウホウ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
 ③ 情報を確認したいドライブを [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。



11-4.ロード デフォルト

各種設定を初期状態に戻します

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し[ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『4. ロード デフォルト』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ 初期化して良いのかの確認画面が表示されますので、良ければ [ENT] ボタンを、キャンセルする場合には [ESC] ボタンを押します。

11-5.アップデート ファームウェア

システムのファームウェアをアップデートします

- ① メニューから『11. システムユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『5. アップデート ファームウェア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ファームウェアの書き込まれたディスクを挿入(手動)し [ENT] ボタンを押します。一定時間が経つと アップデートが完了し、電源を切るよう促す画面が表示されますので、電源を切って再起動します。

12.ローダユーティリティ

オートローダの設定を行います

_____プームウェアアップデート _____

オートローダのファームウェアをアップデートします

- ① メニューから『12. ローダユーティリティ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで『1. ロボットファームウェアアップデート』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ ファームウェアの書き込まれたディスクを挿入(手動)し [ENT] ボタンを押します。一定時間が経つと アップデートが完了し、電源を切るよう促す画面が表示されますので、電源を切って再起動します。

※注意

システムファームウェア、ロボットファームウェア共に、必要でない限りはむやみにアップデートしない でください。ファームウェアは機械の根幹に組み込まれたソフトウェアで、問題が発生した場合には動作不 良に陥ることがあります。何らかの理由によりアップデートが正常に行われなかった場合、起動できなくな るおそれがあります。また、お客様の手によるファームウェアのアップデート作業により、本機に動作不良 が発生した場合は、無償修理保証期間内であっても保証の対象外となりますので予めご了承下さい。

13.アカウント カンリ

操作を許可するユーザー(アカウント)を設定します

- ① メニューから『13. アカウント カンリ』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② [↑] [↓] ボタンで桁ごとのパスワード番号入力し [ENT] ボタンを押して桁を切り替え『OK?』のところまでカーソルを移動させたら再度 [ENT] ボタンを押します。



※初期(未設定時)のパスワードは『0000』です

③ 以下の項目から行いたい設定を [↑] [↓] ボタンで選択し [ENT] ボタンを押します。

13-1.ユーザーカクニン

現在、登録されているユーザ名を確認することが出来ます。 ※注意: アカウントの再設定が出来るユーザは、管理者権限を有する『Admin』のみです。

13-2.ユーザージョウホウ サクセイ

新規アカウントを作成することが出来ます。作成時にユーザー名とパスワードを登録します。 アカウントを作成することにより、各自の設定やパーティションを占有することが出来ます。

13-3.ユーザージョウホウ ヘンシュウ

既存のユーザー名とアカウントを再設定できます。 管理者権限を有する『Admin』のユーザー名は変更出来ません。変更が可能なのはパスワードのみです。 13-4.ユーザージョウホウ サクジョ

既存のアカウントを、このメニューで削除出来ます。 管理者権限を有する『Admin』のユーザー名は削除できません。

13-5.キドウ パスワード

デュプリケータ起動時に、パスワードによる管理を行うか設定することが出来ます。 この機能を『ハイ』にすると、起動時にアカウントが表示され、既存のパスワードを入力しない限り、機械 を操作することが出来なくなります。

※注意

設定したアカウント別のパスワードを忘れてしまうと、操作が行えなくなります。 特に、全操作の権限を有する『Admin』のパスワードについては、管理者が確実に管理するようお願いいたします。

14.オートコピー

自動でマスターディスクから中断させるまで連続でコピーを続けるモードです。

- インプットビンの一番上にマスターディスクを置き、その下にブランクディスクを複製したい枚数、また はインプットビンの上限を超える場合には最大枚数を設置します。
- ② メニューから『14.オートコピー』を選択し[ENT] ボタンを押します。
- ③ コピーが自動で開始されます。インプットビンにブランクディスクが無くなったら、ディスクが無くなった事を示す画面が表示されますので、続ける場合には再度ブランクディスクを必要枚数インプットビンに設置して [ENT] ボタンを押し、終了させる場合には [ESC] ボタンを押します。

※注意

オートコピーモードは、マルチマスター(MM)モードのコピーとは異なり、インプットビンに2枚目のマス ターディスクが置かれている場合は、認識するとエラーとなり停止します。

15.オート コピー+コンペア

自動でマスターディスクから中断させるまで連続でコピー+コンペアを続けるモードです。

- インプットビンの一番上にマスターディスクを置き、その下にブランクディスクを複製したい枚数、また はインプットビンの上限を超える場合には最大枚数を設置します。
- ② メニューから『15.オート コピー+コンペア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ コピーが自動で開始されます。続いてコンペアが実行されます。インプットビンにブランクディスクが無くなったら、ディスクが無くなった事を示す画面が表示されますので、続ける場合には再度ブランクディスクを必要枚数インプットビンに設置して[ENT]ボタンを押し、終了させる場合には[ESC]ボタンを押します。

16.オート コンペア

自動でマスターディスクから中断させるまで連続でコンペアを続けるモードです。

- インプットビンの一番上にマスターディスクを置き、その下にブランクディスクを複製したい枚数、また はインプットビンの上限を超える場合には最大枚数を設置します。
- ② メニューから『16.オート コンペア』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ③ コンペアが自動で開始されます。インプットビンにブランクディスクが無くなったら、ディスクが無くなった事を示す画面が表示されますので、続ける場合には再度ブランクディスクを必要枚数インプットビンに設置して [ENT] ボタンを押し、終了させる場合には [ESC] ボタンを押します。

17.シャットダウン

正常に電源を切るための準備動作を行います

- ① メニューから『17. シャットダウン』を選択し [ENT] ボタンを押します。
- ② シャットダウンすることを確認するメッセージが表示されますので、良ければ[ENT] ボタンを、キャンセルする場合には[ESC] ボタンを押します。
- ③ わずかな時間、システムのチェックを行い、準備が完了すると電源を切るよう促すメッセージが表示されますので、その後に電源を切って下さい。ドライブにディスクが入っている場合にはトレイが排出されますので、ディスクを取り除き、トレイを戻してから電源を切って下さい。

※注意

シャットダウン操作を行わずに電源を切った場合には、設定が消去されて初期化されてしまったり、場合によってはファームウェアが壊れ動作が不良になったりする場合があります。

電源を切る前に必ず、シャットダウン操作を行うよう徹底して下さい。

エラーコード一覧表

コード	メッセージ	説明
R20	インプットビンニブランクディ スクガアリマセン	インプットビンが空であることを示しています。このエラーは空 のディスクがドライブ内で検出出来ない場合も起こります。
R21	インプットビンノエラーデス	インプットビンのエラーを示しています。部品の欠損や機械の故 障など、何らかの障害によってディスクがドライブのトレイに投 入できなかった事を意味しています。
R30	ハイシュツスルディスクノドラ イブトレイヲツキトメラレマセ ン	ドライブのトレイが開いたまま戻れない状態である事を示してい ます。11ページの対処法を参考に、トレイのレバーを手で調整し 復旧させて下さい。
R40	マエノエラーヲクリアシマス	システム命令に不具合が生じた事を示しています。現在の作業を 中止して、新しい作業を開始して下さい。

製品仕様

動作形態	スタンドアロン(PC接続不可)
最大ディスク設置数	50枚
ターゲット数	1
対応ディスク規格	DVD±R, DVD±R DL, DVD±RW, CD-R, CD-RW
書込速度(最大)	DVD-R: 24x, DVD-RW: 6x, DVD+R: 24x, DVD+RW: 8x, DVD-R DL: 12x, CD-R: 48x, CD-RW: 32x
HDD	500GB
表示画面	20文字 × 2行 モノクロLCD
表示言語	日本語, English, Spanish, French, German, Italian
コントロールボタン	4個のプッシュボタン装備
動作保証温度/湿度	0 ~ 45℃ / 20 ~ 80% (結露無きこと)
電源	入力: AC 90 ~ 240V (ACアダプタ)
寸法(WxDxH)	
重量 (kg)	5.4

- ※ コピー元のディスクはファイナライズ処理されたものをお使い下さい。ファイナライズ処理が されていない場合は、コピーが正常に行えない場合があります。
- ※ ディスクは複数枚が貼り付いていないか確認し、ほぐしてから設置し、ご利用下さい。複数枚 が貼り付いた状態で動作させますと、オートローダーに挟まり停止したり、故障の原因となる 場合があります。

製品の取り扱い・修理に関するご相談窓口

株式会社 創朋



受付時間:平日10:00~19:00(休業日を除く)

株式会社 創朋

〒101-0021 千代田区外神田 6-6-1 斉藤ビル 3F TEL.03-5812-2153 FAX.03-5812-2152 http://www.soho-jp.com